

決裁区分	部長	課長	専任主幹	担当	起案	分類	0・2・4
丙	谷屋	諸星	志村		石原	起案	25・5・9
						決裁	25・5・9
						施行	・

秦野市公共施設再配置計画推進会議開催結果

会議名	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 本部会	
	<input type="checkbox"/> 平成 年度 第 回 プロジェクトチーム	
	<input checked="" type="checkbox"/> 平成 25 年度 第 1 回 「ヒト・モノ・カネ」調整 ワーキンググループ	
開催日時	平成 25 年 5 月 9 日（木）午後 1 時 30 分～午後 2 時 0 分	
開催場所	本庁舎 5 A 会議室	
出席者	公共施設再配置推進課長（グループリーダー）	財政課公会計改革担当主幹
	企画課主査（企画政策担当）	行政経営課主任主事（行政経営担当）
	人事課主査（人材育成担当）	財産管理課課長補佐（財産管理担当）
	教育総務課課長補佐（庶務担当）	保育課課長補佐（保育こども園担当）
	生涯学習課課長補佐（生涯学習担当）	スポーツ振興課課長補佐（スポーツ振興担当）
	高齢介護課主事（在宅高齢者支援担当）	
	事務局	公共施設再配置推進課専任主幹 公共施設再配置推進課主任主事
議 題	1 利用者負担の現状と課題について	
	2 その他	
配付資料	資料 公共施設における利用者負担制度の現状と課題	
会 議 結 果		
<p>① 「ヒト・モノ・カネWG」では、本年度は、公共施設における利用者負担制度の見直しについて、統一的なルールを作るため、8月までに3回程度開催する予定である。また、その間に各課への意見照会等も行いたい。現時点で考察できる「現状と課題」及び現在想定しているスケジュールは別添のとおり。</p>		
<p>② 市民アンケートのサンプル数について ⇒ 平成24年12月実施のWEBアンケートのサンプル数は311人であるが、統計的にはこれ以上増やしても、傾向はあまり変わらないとされている。市民の総意の方向性は示していると判断している。</p>		
<p>③ 各課（各施設）が独自に使用料の見直しを進めることは可能か ⇒ 全庁的に足並みを揃えるというのが現在の方針であるが、各課が独自に検討していくことを妨げるものではない。本年度中の見直しを進めるのであれば、必然的にこのWGとスケジュールは重なっていく部分は多いと思われるので、随時連携を図っていただきたい。</p>		
<p>④ 本日の資料の内容に基づいて、各課内（及び部局等の長）の情報共有を図っていただき、利用者負担制度の見直しの必要性について、認識を共有していただきたい。また、5月中に各課へ「所管施設における現状と課題」「利用者負担制度の見直しにあたっての意見」の2点について意見照会を行うので、協力をお願いしたい。</p>		
備考		